

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 1-(1)-(ア)	具体的な取組	防災マップを作り、災害に備えよう！	担当課	地域起こし推進課																														
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (1) 土砂災害等に対する備え																																		
事業目的・内容 居住する地区における土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）、洪水や高潮による浸水想定区域、避難経路及び避難場所を正しく理解し、災害時に的確な避難行動を行えるよう、地域独自の情報を掲載した防災マップの作成を支援する。																																		
○課題と対応 平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。																																		
○指標 防災マップを作成した町内会数			○目標値の考え方 2019 年度末までに、全小学校区で学区全体の防災マップを作成し、さらに196 町内会中 121 の町内会の防災マップを作成する予定としている。今後は、未作成である75 町内会のうち、現在作成に向けて取り組んでいる18 町内会については2020 年度末までの作成を目標とし、それ以外の57 町内会については、5年ごとに行われる土砂災害警戒区域等の更新の時期（2022～2023 年度で実施予定）に合わせた作成を目標とする。																															
○目標値と進捗状況																																		
年度	2021 実績	2022																																
		目標値	実績	進捗率																														
年度毎の 目標値	149 町内会 /196 町内会	178 町内会 /196 町内会	167 町内会 /196 町内会	81%																														
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">進捗率算出（積み上げ式）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">167</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">121 ※</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">-----</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: center;">46</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">178</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">121 ※</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">-----</td> <td></td> <td style="text-align: center;">57</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">※2019 実績値</td> </tr> </table>					進捗率算出（積み上げ式）					167	-	121 ※			-----			=	46	178	-	121 ※			-----				57	※2019 実績値				
進捗率算出（積み上げ式）																																		
167	-	121 ※																																
-----			=	46																														
178	-	121 ※																																
-----				57																														
※2019 実績値																																		
○2022 年度の取組内容等 作成を目指した29 町内会（戸坂学区9 町内会、牛田新町学区9 町内会、早稲田学区5 町内会、未作成6 町内会）のうち、戸坂学区の9 町内会は、新たに防災マップを作成し、配布した。早稲田学区の5 町内会は地域独自で作成した防災マップを活用することとした。また、危険個所が少ない未作成の4 町内会は学区版の防災マップを活用することとした。 牛田新町学区の9 町内会については、避難場所の変更等を検討していることから作成を見合わせる事となった。  (参考)「地区別防災マップの作成状況」は次ページに記載																																		
○2023 年度の目標値と取組方針等																																		
目標値	取組方針等																																	
196 町内会 /196 町内会	当初計画の馬木地区（18 町内会）の防災マップの作成支援（勉強会の開催、アドバイザーの派遣、マップ印刷）を行う。 また、これまで作成に至らなかった11 町内会に対し、引き続き作成に向けて調整する。																																	
○取組上の課題等 防災マップの必要性を感じていない地域もあるため、地域の危険個所を地域と行政とで共有しながら、マップ作成の支援を行う。																																		
○備考																																		

(参考)

地区別防災マップの作成状況

(単位：町内会)

地区名	町内 会数	2019 年度 実績	2020 年度 実績	2021 年度 実績	2022年度実績			2023 年度 計画
					目標値 (A)	作成数 (B)※	未作 成数 (A-B)	
福 田	18	18	-	-	-	-	-	-
馬 木	18	-	-	-	-	-	-	18
上 温 品	16	16	-	-	-	-	-	-
温 品	25	25	-	-	-	-	-	-
東 浄	16	-	-	14	2	1	1	→ 1
戸坂城山	8	1	5	0	2	2	-	-
戸 坂	9	-	-	-	9	9	-	-
牛田新町	9	-	-	-	9	-	9	→ 9
牛 田	22	22	-	-	-	-	-	-
早 稲 田	5	-	-	-	5	5	-	-
中 山	22	22	-	-	-	-	-	-
尾 長	19	16	2	0	1	1	-	-
矢 賀	9	1	7	0	1	-	1	→ 1
計	196	121	14	14	29	18	11	29
累計	-	121	135	149	-	167	-	196

※ 地域独自の防災マップを活用（早稲田学区 5）、マンションのため自宅滞在による避難実施（戸坂城山学区 1、尾長学区 1）、学区版マップを活用（戸坂城山学区 1、東浄学区 1）する町内会を含む。

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 1-(1)-(イ)	具体的な取組	「自助・共助・公助」のバランスが取れた防災訓練を実施しよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (1) 土砂災害等に対する備え				
事業目的・内容 「自分の命は自分で守る」という自助の意識向上を図るとともに、「共助」の重要性を理解することを目的とし、学区自主防災会連合会、消防団及び区役所等が連携し、住民が災害から身を守るための行動や、自主防災組織等が指定避難所で取るべき行動の確認を行う防災訓練を実施する。				
○課題と対応 平成 30 年 7 月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。				
○指標 防災訓練を実施した地区数			○目標値の考え方 毎年、「二葉」「福木・温品」「戸坂」「牛田・早稲田」の 4 つのエリアのうち、 <u>1 エリアにつき 1 地区</u> で訓練を実施している。 今後も同様な形で訓練を継続する。	
○目標値と進捗状況				
年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	3 地区/年	4 地区/年	4 地区/年	100%
○2022 年度の実績内容等 4 つのエリアの学区自主防災会長等と防災訓練の実施に向けた協議を行い、全エリアで 1 回以上の防災訓練を行った。 東区防災訓練は、上温品学区で実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により延期となり、年度内の実施はできなかった。 (参考)				
区 分	学 区	実施日		開催場所
二葉エリア	尾 長	5 月 22 日 (日)		尾長小学校
	矢 賀	9 月 4 日 (日)		矢賀集会所
福木・温品エリア	温 品	3 月 26 日 (日)		温品小学校
戸坂エリア	戸 坂	3 月 12 日 (日)		戸坂学区内
牛田・早稲田エリア	早稲田	6 月 11 日 (土)		早稲田公民館・集会所
	牛 田	11 月 26 日 (土)・27 日 (日)		牛田小学校
○2023 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
4 地区/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022 年度に防災訓練未実施の学区を優先する。</li> <li>二葉エリア・・・中山小学校で 9 月 17 日に東区防災訓練を開催予定</li> <li>福木・温品エリア・・・開催に向けて協議する。</li> <li>戸坂エリア・・・開催に向けて協議する。</li> <li>牛田・早稲田エリア・・・開催に向けて協議する。</li> </ul>			
○取組上の課題等 地域での様々なイベントについて、中止や規模縮小が続いていたことから、自主防災組織等と連携して、防災訓練実施の必要性を地域住民に周知し、理解を得て進めていく。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 1-(2) 2-(4)-(エ)	具体的な取組 要支援者を地域で支えよう!		担当課 地域起こし推進課 地域支えあい課
----------------------------	-------------------------	--	----------------------------

まちづくりのテーマ及び項目  
1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり  
(2) 避難行動要支援者への支援

事業目的・内容

災害時に一人で避難することが困難な方（避難行動要支援者）が、安全かつ確実に避難することを目的とし、町内会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、学区自主防災会連合会へ対象者の名簿を提供し、対象者一人ひとりについて避難に必要な具体的事項を整理した計画（個別避難計画）を作成できるよう支援を行っている。

○課題と対応

要支援者名簿の提供先が多岐にわたるため、地域団体ごとの役割分担を明確にし、相互に連携して取り組めるよう支援を行う。

○指標 ※2022 年度指標修正

対象者のうち、危険区域に居住し、かつ、家族等による支援を受けられない方について、個別避難計画を作成した人数

○目標値の考え方

2021 年度までは、個別避難計画を作成した地区数を目標としていたが、2021 年度において目標を達成したことから、2022 年度からは、2021 年度に作成した人数が 16 人だったことを踏まえ、毎年度の個別避難計画の作成人数を 20 人以上とする。

○目標値と進捗状況

年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	16 人/年	20 人以上/年	21 人/年	105%

○2022 年度の取組内容等

個人情報の外部提供に同意された避難行動要支援者（1,124 人）のうち、避難支援者がいない者に対して優先的に個別避難計画を作成しており、地域包括支援センターをはじめとした支援者と協力し、21 人の計画作成を支援した。

地区名	同意者リスト				東区独自の実態調査			個別避難計画作成数 ※ R4 年度
	要支援者数	危険区域外	家族等の支援が可能	避難支援者がいない 又は 実態不明	居住なし 又は 4階以上に居住	避難支援者がいる	避難支援者がいない	
福田	53	30	15	8	0	8	0	0
馬木	67	21	25	21	0	18	3	0
上温品	50	19	20	11	0	11	0	0
温品	70	42	19	9	1	5	3	2
戸坂	154	44	54	56	6	34	16	7
戸坂城山	53	12	25	16	1	11	4	3
東浄	83	40	25	18	2	13	3	0
牛田新町	62	31	23	8	4	2	2	1
牛田	119	53	41	25	5	17	3	2
早稲田	44	14	13	17	1	16	0	0
中山	82	45	25	12	1	9	2	1
尾長	222	112	72	38	7	22	9	5
矢賀	65	29	22	14	1	6	7	0
計	1,124	492	379	253	29	172	52	21

※危険区域に居住し、かつ、家族等による支援を受けられない方の個別避難計画の作成数

○2023 年度の目標値と取組方針

目標値	取組方針等
20 人以上/年	避難支援者がいない者に対して優先的に個別避難計画の作成支援をしていく。

○取組上の課題等

2023 年度についても、同意者リストの更新が行われるが、実態とは異なるケースがあることから、2022 年度と同様に、同意者リストの「避難支援者がいない」、「実態不明」について、改めて実態調査を行い、地域と連携して個別避難計画の作成支援を行う。

○備考

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 1-(3)-(ア)	具体的 な取組	次世代の担い手を育成するための講演会に参加しよう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (3) 地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化																	
事業目的・内容 各種地域団体が抱えている、役員の高齢化や担い手不足など、地域コミュニティの活力低下が顕在化しているため、その課題解決に向けて、令和2年度から年1回「地域コミュニティの活性化」をテーマとした講演会を開催する。																	
○課題と対応 町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。																	
○指標 講演会の参加者数			○目標値の考え方 東区民文化センター大ホールで講演会を実施する想定として、毎年度 500 人の参加を目標とする。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2021 実績</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td style="text-align: center;">385 人 <small>（YouTube の 視聴回数含む。）</small></td> <td style="text-align: center;">500 人</td> <td style="text-align: center;">445 人 <small>（YouTube の 視聴回数含む。）</small></td> <td style="text-align: center;">89%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2021 実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	385 人 <small>（YouTube の 視聴回数含む。）</small>	500 人	445 人 <small>（YouTube の 視聴回数含む。）</small>	89%
年度	2021 実績	2022															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	385 人 <small>（YouTube の 視聴回数含む。）</small>	500 人	445 人 <small>（YouTube の 視聴回数含む。）</small>	89%													
○2022 年度の実績内容等 12 月 3 日に開催した東区コミュニティ交流協議会東区民大会において、講演会の代わりに、地域コミュニティの活性化につながる発表として、①広島市地域コミュニティ活性化ビジョンに基づく「新たな協力体制」の構築について（矢賀学区、上温品地区、早稲田学区の事例紹介）、②広島県立広島中央特別支援学校の紹介と高等部普通科 2 年生の意見発表を行った。 大会は新型コロナウイルス感染症対策として、東区民文化センターホールの定員を約半分に制限して開催した。 また、当日の映像を広島市公式 YouTube チャンネルで配信した。																	
○2023 年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">500 人</td> <td>今年度同様、地域コミュニティの活性化につながる活動発表を行うことで、団体同士の連携や新たな活動に向けての活力につなげる。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	500 人	今年度同様、地域コミュニティの活性化につながる活動発表を行うことで、団体同士の連携や新たな活動に向けての活力につなげる。									
目標値	取組方針等																
500 人	今年度同様、地域コミュニティの活性化につながる活動発表を行うことで、団体同士の連携や新たな活動に向けての活力につなげる。																
○取組上の課題等 これまで開催していた講演会形式のみでは参加者が増えないため、活動発表を取り入れるなど、参加者の増加につながる内容を検討する。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 1-(3)-(イ)	具体的な取組	「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金」	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (3) 地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化																	
事業目的・内容 平成 27 年度から住宅団地の活性化を目的に制度が創設され、平成 29 年度からは全市域に対象エリアを拡大し、町内会、地区社会福祉協議会、子ども会が新たに行う地域コミュニティの活性化のための主体的・継続的な取組に補助金を交付している。																	
○課題と対応 町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。																	
○指標 新規申請件数			○目標値の考え方 2019 年度までの過去5年間の新規申請件数の平均が 2 件であるため、毎年度 2 件以上を目標とする。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2021 実績</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>4 件 /年</td> <td>2 件以上 /年</td> <td>3 件 /年</td> <td>150%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2021 実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	4 件 /年	2 件以上 /年	3 件 /年	150%
年度	2021 実績	2022															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	4 件 /年	2 件以上 /年	3 件 /年	150%													
○2022 年度の取組内容等 1 次募集での新規申請が 1 件であったことから、地区社会福祉協議会への手引き等の案内の送付や、年度当初の団体長への個人情報提供依頼時にチラシ等の案内を同封するなどして制度を周知した結果、2 次募集及び 3 次募集でそれぞれ 1 件の新規申請があり、今年度実績は 3 件となった。																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>団体名</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 次募集</td> <td>上温品地区社会福祉協議会</td> <td>上温品ちびっこ桜まつり</td> </tr> <tr> <td>2 次募集</td> <td>牛田学区社会福祉協議会</td> <td>牛田避難所体験防災キャンプ</td> </tr> <tr> <td>3 次募集</td> <td>牛田学区社会福祉協議会</td> <td>牛田フェスタ</td> </tr> </tbody> </table>					区分	団体名	内 容	1 次募集	上温品地区社会福祉協議会	上温品ちびっこ桜まつり	2 次募集	牛田学区社会福祉協議会	牛田避難所体験防災キャンプ	3 次募集	牛田学区社会福祉協議会	牛田フェスタ	
区分	団体名	内 容															
1 次募集	上温品地区社会福祉協議会	上温品ちびっこ桜まつり															
2 次募集	牛田学区社会福祉協議会	牛田避難所体験防災キャンプ															
3 次募集	牛田学区社会福祉協議会	牛田フェスタ															
○2023 年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 件以上 /年</td> <td>補助金を受けた団体の活動を「市民と市政」や Facebook を通じて広報し、地域活動団体に向けて補助制度や活動の具体的な内容を周知する。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	2 件以上 /年	補助金を受けた団体の活動を「市民と市政」や Facebook を通じて広報し、地域活動団体に向けて補助制度や活動の具体的な内容を周知する。									
目標値	取組方針等																
2 件以上 /年	補助金を受けた団体の活動を「市民と市政」や Facebook を通じて広報し、地域活動団体に向けて補助制度や活動の具体的な内容を周知する。																
○取組上の課題等 制度が十分に周知されていないことから、地区社会福祉協議会など各種団体へチラシや案内を送付するとともに、「市民と市政」や公民館だよりで紹介記事を掲載するなど、新規申請の掘り起こしを行う。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 1-(4)-(ア)	具体的な取組	地域の安全は地域で守ろう!	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (4) 犯罪の起こりにくい安全なまちづくり				
事業目的・内容 犯罪の起こりにくい安全なまちづくりに向けた地域の自主的な取組を支援するため、平成 26 年度から町内会が道路等の公共空間に防犯カメラの設置する場合、補助金を交付している。				
○課題と対応 安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。				
○指標 防犯カメラ設置補助制度を活用した設置台数			○目標値の考え方 2014 年度からの 6 年間における設置台数の平均が約 5 台/年であることから、年間 5 台以上の設置を目標とする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	6台 /年	5台以上 /年	1台 /年	20%
○2022 年度の実績等 6 月末までの補助金の募集で 1 台（福田）の設置を支援した。市全体としても申請が上限に達しなかったため、追加募集（8 月 19 日～10 月 17 日）が実施されたことを受けて補助制度の周知と申請勧奨のために、Facebook（8 月 10 日）への投稿、窓口へのパンフレット配架、8 月 27 日に開催された「町内会・自治会意見交換会」においてチラシを配付するなど周知したが、追加募集での申請はなかった。				
(参考) 広島市地域防犯カメラ設置補助制度による防犯カメラ設置状況				
地 区	～2021 年度	2022 年度		計
		6月募集	追加募集	
福 田	5台	1台	-	6台
馬 木	9台	-	-	9台
上 温 品	5台	-	-	5台
温 品	3台	-	-	3台
東 浄	-	-	-	-
戸坂城山	-	-	-	-
戸 坂	1台	-	-	1台
牛田新町	-	-	-	-
牛 田	11台	-	-	11台
早 稲 田	-	-	-	-
中 山	2台	-	-	2台
尾 長	11台	-	-	11台
矢 賀	-	-	-	-
計	47台 ※	1台	-	48台
		1台		
※ 2020 年度の新型コロナウイルス感染症対応の交付金を活用して設置した台数（6 台）を含む。				
○2023 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
5台以上 /年	地区によって設置台数に偏りがあることについて周知を行い、年間5台以上の設置を支援する。			
○取組上の課題等 防犯カメラの必要性や補助制度の周知が不十分なため、未設置地区を中心に防犯カメラの必要性やランニングコストを含めた設置に係る費用などを丁寧に説明し、防犯カメラの設置を呼びかけていく。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 1-(4)-(イ)	具体的な取組	防犯灯でまちを明るくしよう！	担当課	維持管理課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (4) 犯罪の起こりにくい安全なまちづくり				
事業目的・内容 犯罪の起こりにくい安全なまちづくりを進めるため、犯罪の抑止力になる防犯灯を区役所が設置するほか、町内会が独自に設置する場合についても、昭和 37 年度から補助金を交付している。				
○課題と対応 安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。				
○指標 防犯灯の新規設置か所数			○目標値の考え方 過去3年間の平均で、区役所が新規設置する防犯灯が 15 か所、町内会が市からの補助を受けて新規設置する防犯灯が5か所のため、毎年度 20 か所の新規設置を目標に取り組む。	
○目標値と進捗状況				
年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	26 か所 /年	20 か所 /年	24 か所 /年	120%
○2022 年度の取組内容等 新規要望があった 19 か所について設置工事をすべて完了した。また、市からの補助金で町内会が新設する防犯灯についても5か所設置された。				
○2023 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
20 か所 /年	街路灯の市による新設又は町内会による新規設置補助等の要望・相談を受ける機会があれば、対応の是非を判断のうえ対応可能であれば積極的に支援していく。 なお、街路灯設置の申請又は相談等を受ける際、防犯カメラの設置（地域起こし推進課所管）についても呼びかける。			
○取組上の課題等 防犯灯の新規設置については、工事担当課が全区分を取りまとめたうえで工事発注するため、要望を受けてから設置するまでかなりの時間を要している。				
○備考				



## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 1-(5)	具体的な取組	交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (5) 交通事故のない安全なまちづくり				
事業目的・内容 交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図るため、交通安全運動推進隊、警友会広島東支部、交通安全協会、学校、警察等と連携して、年間に交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催し、事故のない安全なまちづくりを推進する。				
○課題と対応 交通事故の件数は年々減少傾向にあるが、「ながらスマホ」などの交通マナーの低下（特に若年層）などが指摘されており、交通安全に対する意識の向上を図る。				
○指標 交通安全街頭キャンペーン・自転車交通マナー教室の開催数			○目標値の考え方 年間で交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催していることから、年間6回以上の開催数とする	
○目標値と進捗状況				
年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	3回/年	6回以上/年	5回/年	83%
○2022 年度の取組内容等 交通安全運動街頭キャンペーン及び自転車マナー教室を次のとおり、実施した。 なお、瀬戸内高等学校の1・2年生（約930名）を対象とした自転車マナー教室については、大雪予報による休校で中止となったため、学校を通じて啓発物品（ルールブック・ポケットティッシュ）の配布を行った。				
(参考)				
区 分		参加者数	実施状況	
交通安全 街頭キャンペーン		春	30人	4月6日 広島駅北口周辺
		夏	39人	7月13日 広島駅北口周辺
		秋	39人	9月21日 ペDESTリアンデッキ
		年末	45人	12月3日 イオンモール広島府中
自転車交通マナー教室		第1回	260人	4月19日 広島桜が丘高等学校
		第2回	中止	1月25日 広島県瀬戸内高等学校
○2023 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
6回以上/年	街頭キャンペーンについて、実施方法等を「広島東安全・安心まちづくり会議（東区、広島東警察署、府中町）」で協議の上、実施する。 また、自転車交通マナー教室については、開催予定校（広島県立安芸高等学校、広島市立広島商業高等学校）の意向を確認の上、開催する。			
○取組上の課題等 自転車交通マナー教室については、交通マナーを向上させる内容を検討する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 2- (1) - (ア)	具体的な 取組	認知症サポーターになろう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (1) 認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応				
事業目的・内容 認知症に関する正しい知識を有し、認知症の人やその家族のよき理解者となる認知症サポーターを増やし、認知症の人やその家族が安心して暮らすことのできる地域づくりを進めるため、平成 18 年度から、区民や地域団体・事業所等を対象とし、地域住民の要請等に基づき、地域包括支援センター等が企画して、認知症サポーター養成講座を開催している。 これに加え、東区では、若い世代から認知症を知り理解を深めることが重要であるため、小中高等学校の児童生徒や大学生を対象とした講座を年 1 回、各学校において開催している。				
○課題と対応 認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。				
○指標 認知症サポーター養成講座の実施校数			○目標値の考え方 2019 年度の実績として小学校 1 校、私学の中高一貫校 1 校が未実施のため、2020 年度までに小中高大全ての学校での実施を目標とする。 その後も全ての小中高大の学校での実施を継続するとともに、特別支援校等の実施を検討する。	
○目標値と進捗状況				
	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	12 校 小学校 5/12 中学校 5/7 高等学校 0/5 大学 2/2	26 校 小学校 12/12 中学校 7/7 高等学校 5/5 大学 2/2	17 校 小学校 7/12 中学校 7/7 高等学校 1/5 大学 2/2	65%
○2022 年度の取組内容等 5、6 月に小・中学校長会で講座の開催を依頼するとともに、8 月に各地域包括支援センターに対して積極的な実施について働きかけを行った。また、2 月に小・中学校長会で再度講座の開催依頼を行い、次年度の実施に向けた働きかけを行った。				
区分	実施校			
小学校	上温品小、戸坂小、戸坂城山小、牛田新町小、早稲田小、尾長小、矢賀小			
中学校	福木中、温品中、戸坂中、城北中、牛田中、早稲田中、二葉中			
高等学校	桜が丘高校			
大学	女学院大学、比治山大学			
○2023 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
26 校 小学校 12/12、中学校 7/7 高等学校 5/5、大学 2/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの学校で開催できるよう、地域包括支援センターと連携して取り組む。</li> <li>・未実施校については、地域包括支援センターと一緒に行政が学校を訪問し開催依頼をする等、積極的に働きかけを行う。</li> </ul>			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症拡大前には多くの学校で開催できていたが、拡大した 2020 年度以降は、実施ができていない学校が多くあるため、拡大前の実績に近づくよう、地域包括支援センターと連携して取り組む。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 2-(1)-(イ)	具体的な取組	認知症支えあいカフェを広めよう！	担当課	地域支えあい課						
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (1)認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応										
事業目的・内容 認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう、平成26年度より認知症の人とその家族、地域団体、医師・社会福祉士・保健師等が、概ね月1回程度、地域の集会所や病院などで気軽に集い交流を図る認知症支えあいカフェを開催している。専門職による相談・助言により、地域で認知症の人とその家族を支える体制づくりを進める。										
○課題と対応 認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。										
○指標 認知症支えあいカフェの設置地区数			○目標値の考え方 2019年度実績が8地区社協エリアであったため、2020年度目標を9地区とし、2024年度までに全地区設置とする。							
○目標値と進捗状況			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12 - 8 ※</td> <td style="text-align: center;">= 4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">11 - 8 ※</td> <td style="text-align: center;">= 3</td> </tr> </table>		実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値		12 - 8 ※	= 4	11 - 8 ※	= 3
実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値										
12 - 8 ※	= 4									
11 - 8 ※	= 3									
年度	2021 実績	2022								
		目標値	実績	進捗率						
年度毎の 目標値	10/13 地区	11/13 地区	12/13 地区	133%						
○2022 年度の実績内容等 未設置地区において立ち上げ支援を行った結果、「いっぽカフェ」（牛田地区）が7月に、中山やすらぎカフェ（中山地区）が9月に開店した。これにより13地区中12地区での設置が完了した。また、矢賀地区において次年度設置に向けての講座や地域会議の取り組みが進んでいる。 既存のカフェのうち、感染症対策の為に再開できていない馬木地区の「もみじカフェ馬木」及び上温品地区の「認知症カフェぬくぬく」については、実施会場を医療・介護施設から集会所や民家に変更できるよう協議しており、「もみじカフェ馬木」については、馬木公民館に会場を移して再開することができた。 感染症対策で休止しているカフェに代わり、牛田新町で新規のカフェ立ち上げが決定しており、立ち上げ会議や、サポーター養成講座を開催した。 ※（参考）地区別の設置状況は次ページに記載										
○2023 年度の目標値と取組方針等										
目標値	取組方針等									
12/13 地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き未設置地区である矢賀地区の立ち上げ支援を行う。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、活動休止したカフェの代替場所や今後のあり方について検討する。</li> </ul>									
○取組上の課題等 カフェの実施主体により新型コロナウイルス感染症の対応方針に差があり、一律の支援が難しい。										
○備考										

○ 地区別の設置状況

地区	カフェ名称	実施主体	会場	開始時期
福田	ふくだオレンジカフェ	社会福祉法人 広島常光福祉会 居宅介護支援事業所ふくだの里	福田公民館	2016年10月
馬木	もみじカフェ馬木	馬木住民	メープル馬木1階地 域交流スペース→馬 木公民館	2019年9月
上温品	認知症カフェぬくぬく(休止中)	医療法人たかまさ会 山崎病院	山崎病院屋上庭園	2015年5月
温品	温品きんさいカフェ	温品学区社会福祉協議会 有限会社リラックス 認知症サポーターステップアップ 講座修了者	世代間交流施設りら つくす保育園	2020年10月
	間所支えあいカフェ ※ ケアビレッジ温品カフェに移転	温品学区社会福祉協議会、広島 銀行(共催) 認知症サポーター養成講座修了 者(認知症サポーターステップア ップ講座修了者含む)	フォレオ広島東店広 島銀行温品支店セミ ナールーム	2021年7月 2022年2月閉店 (移転のため)
	旭が丘カフェ	温品学区社会福祉協議会 認知症サポーター養成講座修了 者(認知症サポーターステップア ップ講座修了者含む)	民家	2022年3月
	ケアビレッジ温品カフェ ※ 間所支えあいカフェから移転	温品学区社会福祉協議会 認知症サポーター養成講座修了 者(認知症サポーターステップア ップ講座修了者含む)	高齢者施設	2022年6月
東浄	認知症カフェ よりみち	東浄学区社会福祉協議会	民家	2017年7月
戸坂城山	南2丁目にこここカフェ	戸坂城山社会福祉協議会 広島第一病院	広島第一病院地域交 流スペース	2019年7月
戸坂	さくらカフェ	戸坂学区社会福祉協議会	桜ヶ丘市営住宅5号 棟1階さくらサロン	2016年11月
	太田川カフェゆう (休止中)	太田川病院 認知症支援チーム	太田川病院内	2017年10月
牛田新町	牛田新町ローズカフェ (休止中)	介護老人保健施設牛田バラ苑	牛田新町集会所1階	2018年6月
牛田	いっぽカフェ	住民	喫茶はじめのいっぽ	2022年7月
早稲田	みち草カフェ	早稲田学区社会福祉協議会	早稲田集会所1階	2020年4月
中山	中山やすらぎカフェ(café)	中山地区社会福祉協議会	中山集会所	2022年9月
尾長	オレンジカフェ ハッピーミ ルキー (休止中)	医療法人社団 ひろまさ会 谷本クリニック併設ミルキーケア	ミルキーケア1階	2016年4月
	認知症ケア&予防ハートホ ーム CAFÉ	広島主城教会	広島主城教会	2020年2月

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 2-(2)	具体的な取組	いきいき百歳体操に取り組もう！	担当課	地域支えあい課															
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (2) 高齢者の健康づくり、介護予防の推進																			
事業目的・内容 誰もが介護予防に取り組むことのできる地域づくりを進めるため、高齢者が気軽に通える身近な地域の集会所等で、いきいき百歳体操等を行う「介護予防拠点」を平成 29 年度から整備している。																			
○課題と対応 介護を要する高齢者の増加が見込まれるため、地域団体等と協力して介護予防拠点を増やし、自ら健康づくりに取り組む高齢者を増やす。																			
○指標 拠点数と参加者数			○目標値の考え方 広島市高齢者施策推進プランの目標値の考え方（2025 年度までに高齢者の 1 割が参加）を踏まえ、2025 年度の東区の高齢者人口約 31,000 人のうち、1 割の 3,100 人の参加を目標とし、拠点数については、1 拠点あたりの参加者数を 20 人として設定している。 なお、2026 年度以降については、次期プランに併せて作成する。																
○目標値と進捗状況																			
年度	2021 実績	2022																	
		目標値	実績	進捗率															
年度毎の 目標値	2,337 人 (99 拠点)	2,428 人 (121 拠点)	2,301 人 (105 拠点)	83%															
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center; font-size: small;">実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2,301</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1,685 ※</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: center;">616</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2,428</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1,685 ※</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: center;">743</td> </tr> </table>					実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値					2,301	-	1,685 ※	=	616	2,428	-	1,685 ※	=	743
実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値																			
2,301	-	1,685 ※	=	616															
2,428	-	1,685 ※	=	743															
○2022 年度の取組内容等 新規拠点として牛田地区、中山地区、矢賀地区で 1 か所、尾長地区と戸坂地区で 2 か所が開設し、福田地区で 1 か所の閉鎖があった。 既存の拠点については、6 月に拠点の責任者を対象とした「東区介護予防拠点研修会」を開催して、リハビリ専門職による「コロナ禍における介護予防活動」の講義や意見交換を行った結果、地域リハビリテーション派遣事業が活発になり、拠点活動の活性化に繋がっている。 各地域包括支援センターにおいては、高齢者がコロナ禍でも安心して介護予防ができるよう、地域におけるウォーキング活動の支援を行うとともに、グラウンドゴルフやラジオ体操等の屋外活動についても情報収集して、2022 年度の「東区地域支えあいリスト」に追加掲載した。																			
○2023 年度の目標値と取組方針等																			
目標値	取組方針等																		
2,652 人 (132 拠点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して活動できるよう、地域包括支援センターと連携して支援する。</li> <li>・未設置地区について、地域包括支援センターと連携して新規立ち上げ支援を行う。</li> </ul>																		
○取組上の課題等																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点参加者の高齢化に伴い、参加人数が減少している。</li> <li>・拠点代表者の高齢化に伴い、週 1 回以上の活動が困難となっている。</li> </ul>																			
○備考																			

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 2-③	具体的な取組	地域子育てオープンスペースの参加者を増やそう！	担当課	地域支えあい課													
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (3) 地域ぐるみの子育て支援																	
事業目的・内容 子育て中の親子が地域で孤立しないよう、子育て支援ボランティアや民生委員児童委員が中心となり、月に1回程度、公民館や集会所等で子育て親子が気軽に集い交流できる地域子育てオープンスペースを開催している。																	
○課題と対応 子育て中の親子が利用しやすいよう、地域団体と連携し、子育てオープンスペースの実施回数や実施箇所数を増やすとともに、多世代交流など多様な実施内容を取り入れ、参加者数を増やす。																	
○指標 地域の子育てオープンスペースの参加者数			○目標値の考え方 2018年度の参加者が2,712人(16か所)であったため、2020年度目標を2,900人とし、毎年度50人増やすこととする。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2021実績</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の目標値</td> <td>708人</td> <td>3,000人</td> <td>2,015人 (オンラインおしゃべり広場含む。)</td> <td>67%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2021実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の目標値	708人	3,000人	2,015人 (オンラインおしゃべり広場含む。)	67%
年度	2021実績	2022															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の目標値	708人	3,000人	2,015人 (オンラインおしゃべり広場含む。)	67%													
○2022年度の取組内容等 コロナ禍においても、閉鎖することなく、地域の子育てオープンスペースを開催し、計画どおり、163回開催し、1,868人が参加した。外出控えや、感染対策のため予約制で実施しているところもあり、参加者数は目標には達していない。 また、コロナ禍でも自宅から参加できる「オンラインおしゃべり広場」を21回開催し、離乳食や子どもの発達や保育園入園などをテーマに取り上げ、147人が参加した。この内容は、ホームページ(2か月に1回)、ひろしま子育て応援アプリ(母子モ)(月1回)、Facebook(月1回)で発信を行い、「オンラインおしゃべり広場」のホームページについては、1月65回、2月66回、3月82回の閲覧があった。																	
○2023年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,050人</td> <td>・保健師の訪問時や乳幼児健診会場のモニターを活用した地域子育てオープンスペースの紹介等、広報を行い、参加を呼びかけていく。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	3,050人	・保健師の訪問時や乳幼児健診会場のモニターを活用した地域子育てオープンスペースの紹介等、広報を行い、参加を呼びかけていく。									
目標値	取組方針等																
3,050人	・保健師の訪問時や乳幼児健診会場のモニターを活用した地域子育てオープンスペースの紹介等、広報を行い、参加を呼びかけていく。																
○取組上の課題等 乳幼児健診会場のモニターを活用した広報や新生児訪問等での紹介など、地域の子育てオープンスペースの効果的なPRを行い、新規の利用者を増やしていく。「オンラインおしゃべり広場」についても、ホームページ・Facebook・ひろしま子育て応援アプリ(母子モ)で発信し広報していく。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 2-(4)-(ア)	具体的な取組	「東区地域支えあいリスト」の掲載件数を増やそう！	担当課	地域支えあい課																				
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組																								
事業目的・内容 高齢者、子ども、障害者などすべての人々が「住みなれた地域で安心して暮らすことができる」地域共生社会の実現を目指し、平成31年4月に「地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議」を設置し、その取組の一環として、地域団体の活動をまとめた「東区地域支えあいリスト」を作成した。 子育て中の親子や高齢者、障害児・者が地域で通える場所やボランティアバンク等の生活支援の情報を、日常生活圏域（中学校区）ごとにマップとリストで掲載している。																								
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。																								
○指標 ※2021年度に指標上方修正 地域支えあいリストの掲載件数			○目標値の考え方 2019年度の掲載件数の296件をベースにして、今後いきいき百歳体操と認知症支えあいカフェの実施団体の増加を年12件～17件見込んでいる。 なお、2026年度以降については、2025年度に作成する。																					
○目標値と進捗状況																								
年度	2021 実績	2022																						
		目標値	実績	進捗率																				
年度毎の 目標値	345件	<u>352件</u>	404件	193%																				
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">進捗率算出（積み上げ式）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">404</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">296 ※</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: center;">108</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">352</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">296 ※</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: center;">56</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">※2019実績値</td> </tr> </table>					進捗率算出（積み上げ式）					404	-	296 ※	=	108	352	-	296 ※	=	56	※2019実績値				
進捗率算出（積み上げ式）																								
404	-	296 ※	=	108																				
352	-	296 ※	=	56																				
※2019実績値																								
○2022年度の取組内容等 9月のリスト更新に向けて、4月の「地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議」の実務者協議において、地域包括支援センター及び東区社会福祉協議会に、リストデータの更新を依頼した。5月には、地区社会福祉協議会の代表者や関係団体等にリストの更新について依頼した。 今年度は、コロナ禍でも活動しやすいグラウンドゴルフ、ラジオ体操、ウォーキング等の屋外活動について、各地域包括支援センターにおいて情報収集し、新規項目として59件を追加した。 9月に完成し、委員や地域団体への配付及びホームページの更新を行った。																								
○2023年度の目標値と取組方針等																								
目標値	取組方針等																							
<u>374件</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東区地域支えあいリストの更新及び広報</li> <li>・東区地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議の開催</li> </ul>																							
○取組上の課題等 新たな掲載情報について、引き続き情報収集を行っていく。																								
○備考																								

## アクションプラン 検証シート（2022年度実績）

項目番号 2-(4)-(イ)	具体的な取組	医師会や歯科医師会等の医療介護関係者と地域団体が連携した活動を増やそう！	担当課	地域支えあい課																				
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組																								
事業目的・内容 誰もが、住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせるためには、医療・介護ネットワーク（医療介護関係者）と介護予防・生活支援ネットワーク（地域団体）の有機的な連携を進める必要がある。このため、「認知症支えあいカフェ」への医療介護関係者による支援や、地域団体の研修会等への医療介護関係者による講師派遣等を行う。																								
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。																								
○指標 ※2021年度に指標上方修正 医療介護関係者と地域団体が連携した地区数			○目標値の考え方 2020年度から2地区社協エリアで開始し、毎年度2地区増やし、2025年度13地区全ての地区で実施することとする。																					
○目標値と進捗状況																								
	2021 実績	2022																						
年度		目標値	実績	進捗率																				
年度毎の 目標値	9/13 地区	<u>13/13</u> 地区	13/13 地区	100%																				
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">実績進捗率算出（積み上げ式）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0 ※</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">= 13</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0 ※</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">= 13</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">※2019年度実績</td> </tr> </table>					実績進捗率算出（積み上げ式）					13	-	0 ※	= 13		13	-	0 ※	= 13		※2019年度実績				
実績進捗率算出（積み上げ式）																								
13	-	0 ※	= 13																					
13	-	0 ※	= 13																					
※2019年度実績																								
○2022年度の実施内容等 認知症支えあいカフェの新規立ち上げ支援として、6月に牛田地区の「いっぽカフェ」、7月に中山地区の「中山やすらぎカフェ」、11月に次年度立ち上げ予定の矢賀学区、3月に次年度立ち上げ予定の牛田新町の「カフェさかみち」において、医療介護関係者による認知症サポーター養成講座を開催した。 また、いきいき百歳体操を行う高齢者の通いの場に薬剤師又は歯科衛生士を派遣して健康教育を実施し、目標である全13地区での実施が完了した。 ※（参考）地区別の取組内容は次ページに記載																								
○2023年度の目標値と取組方針等																								
目標値	取組方針等																							
<u>13/13</u> 地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症支えあいカフェの新規立ち上げ支援として医療・介護関係者を派遣する。</li> <li>・地域の通いの場に薬剤師又は歯科衛生士を派遣して健康教育を行う。</li> <li>・地域の実状やニーズに応じて、医師、歯科医師及びリハビリテーション専門職を派遣する。</li> </ul>																							
○取組上の課題等 認知症支えあいカフェや地域の通いの場については、新型コロナウイルス感染症の5類移行を考慮し、基本的な感染対策を行いながら、安全に開催できるよう支援する。																								
○備考																								



○ 地区別の取組内容

※ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業に関する取組は別表に記載。

地区	項目	取組内容	開始時期
温品	医療介護関係者による認知症支援あいカフェの立ち上げ支援	温品学区社会福祉協議会が介護保険事業所(有りらっくす)と協働し、認知症支援あいカフェ「温品きんさいカフェ」を開設。また、立ち上げに当たり、認知症アドバイザーである介護支援専門員を講師とした研修会を開催。	2020年7月
早稲田	医療介護関係者による認知症支援あいカフェの立ち上げ支援	認知症支援あいカフェ「早稲田みち草カフェ」(主催:早稲田学区社会福祉協議会)の立ち上げに当たり、認知症サポート医や認知症アドバイザーである介護支援専門員を講師とした研修会を開催。	2020年7月
	地域防災プラットフォームへの医師の参加	「早稲田学区地域防災プラットフォーム」のメンバーに東区医師会から医師が参加し、災害時における医療・救護対応やトリアージ等について助言を行う。	2021年10月
牛田 ※既実施地区	医療介護関係者による認知症支援あいカフェの立ち上げ支援	認知症支援あいカフェ「いっぽカフェ」(主催:牛田学区社会福祉協議会)の立ち上げに当たり、認知症アドバイザーである介護支援専門員を講師とした研修会を開催。	2022年6月
中山 ※既実施地区	医療介護関係者による認知症支援あいカフェの立ち上げ支援	認知症支援あいカフェ「中山やすらぎカフェ(café)」(主催:中山地区社会福祉協議会)の立ち上げに当たり、認知症アドバイザーである介護支援専門員を講師とした研修会を開催。	2022年7月
矢賀 ※既実施地区	医療介護関係者による認知症支援あいカフェの立ち上げ支援	認知症支援あいカフェ(主催:矢賀学区社会福祉協議会)の立ち上げに当たり、認知症アドバイザーである介護支援専門員を講師とした研修会を開催。	2022年11月
牛田新町 ※既実施地区	医療介護関係者による認知症支援あいカフェの立ち上げ支援	認知症支援あいカフェ(主催:牛田新町住民有志)の立ち上げに当たり、認知症アドバイザーである介護支援専門員を講師とした研修会を開催。	2023年3月

(別表) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業に関する取組

※ 以下の高齢者の通いの場へ薬剤師又は歯科衛生士を派遣し、健康教室を開催している。

地区	高齢者の通いの場 (いきいき百歳体操)	開始時期
上温品	はつらつ健康クラブ上温品 (主催: 地域住民)	2020年11月
戸坂城山	元気で来んさい会 数甲 (主催: 数甲長寿会・町内会)	
尾長	丸山自治会百歳体操 (主催: 丸山自治会)	
牛田	かうちゃんクラブ (主催: 地域住民)	2021年11月
	牛田本町3丁目いきいき健康サロン (主催: 牛田本町3丁目町内会)	
戸坂	ダイヤ会 (主催: ダイヤパレス牛田天水苑自治会)	2021年12月
温品※既実施地区	いきいき健康体操 (主催: 温品学区社会福祉協議会)	
矢賀	ファミリー (主催: ファミールマンション)	
福田	きのむね会 (主催: 連合町内会)	
東浄	元気じゃけん体操 (主催: 個人)	2022年5月
中山	東・元気会 (主催: 中山東町内会)	
矢賀※既実施地区	ひまわりの会 (主催: アジサイの会【矢賀2丁目地域住民】)	2022年11月
牛田※既実施地区	牛田本町三丁目いきいき健康サロン (主催: 牛田本町三丁目町内会)	
馬木	笑顔体操会 (主催: 馬木ボランティア活動)	
尾長※既実施地区	さくら会 (主催: 山根西周辺住民有志)	2022年12月
上温品※既実施地区	上温品66クラブ (主催: 地域住民)	
福田※既実施地区	五月丘集会所 (主催: 五月丘町内会)	
戸坂※既実施地区	桜が丘健康体操 (主催: 桜上町地域住民)	
牛田新町	牛田新町一丁目第一老人クラブ (主催: 牛田新町一丁目第一老人クラブ )	
早稲田※既実施地区	早稲田四丁目 ちゃのみば (主催: 早稲田社協、町内会、睦会、民生委員児童委員)	2023年1月
戸坂城山 ※既実施地区	フレッシュ女性会いきいき100歳体操 (主催: 出江女性会)	2023年2月

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 2-(4)-(ウ)	具体的な取組	地域共生社会の実現のため、多世代交流の場を立ち上げよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組				
事業目的・内容 公民館や集会所等で、子ども、高齢者、障害者などを対象とした多世代交流の場を設置し、茶話会や季節の行事等を定期的で開催することで、協働による相乗効果や新たな担い手の発掘など、効率的な取組に発展させる。				
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。				
○指標 多世代交流の場の開催地区数		進捗率算出（積み上げ式） $\frac{8 - 2 ※}{8 - 2 ※} = \frac{6}{6}$ ※2019 実績値	○目標値の考え方 2018 年は 1 地区（戸坂地区）の地区社協のエリアで開催しており、2019 年までは年 1 地区（尾長地区）ずつ、2020 年からは年 2 地区ずつ増やし、2025 年度には 13 か所全ての地区で開催することとする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	6/13 地区	8/13 地区	8/13 地区	100%
○2022 年度の取組内容等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・安楽寺（牛田地区）のウォーキング活動に子育て中の親子の参加が始まり、10 月からは 2 か所の障害者支援事業所が自主製品の販売を開始した。</li> <li>・戸坂城山地区では、新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止となっていたこども食堂での交流が 12 月に再開された。</li> <li>・牛田新町地区では、10 月の「いきいき健康フェスティバル」に大学生が参加し、パークスポーツの遊び方の指導を行い、参加した乳幼児・小学生やその保護者、高齢者と交流した。また、子育てオープンスペース「わくわく・しんまち」に大学生が参加し、乳幼児やその保護者、ボランティアと交流した。</li> </ul> ※（参考）地区別の取組内容は次ページに記載				
○2023 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
10/13 地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流や、障害者と地域住民の交流につながる活動を様々な機会を通じて紹介するなど、横展開を図り、未実施地区での実施を目指していく。</li> </ul>			
○取組上の課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体主催のウォーキングの取組に合わせて、子育て中の親子の参加ができるよう、調整し、PR を進めていく。</li> <li>・販路の拡大、地域との交流に当たっては、障害者支援事業所の人的資源に限りがあるため、事業所にもメリットがある場の設定を進めていく。</li> </ul>				
○備考				

(参考) 地区別の取組内容

地区	取組内容	備考	
戸坂	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき百歳体操「くるめ木健康体操」：健康相談室に来所した親子と交流</li> </ul>	2022年度 休止中	
戸坂城山	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども食堂「らくらく広場」：地域の小学生と高齢者、大学生が交流</li> </ul>	2022年12月 に再開	
東浄	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき百歳体操「戸坂新町いきいきサロン」「いきいき百歳体操 in 中山台」：障害者支援事業所「つくしんぼ作業所」が栽培した野菜や焼き菓子を販売し、高齢者と交流</li> <li>中山台集会所「花の寄せ植え会」：障害者支援事業所「つくしんぼ作業所」が栽培した野菜や焼き菓子を販売し、地域住民と交流</li> <li>東浄子ども行事（縁日）：障害者支援事業所が自主製品を販売</li> </ul>	2021年7月 から実施（8・9 月は、コロナで休止）	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸坂新町郵便局</li> </ul>	2か所の郵便局において、障害者支援事業所「つくしんぼ作業所」が自主製品を販売	2022年度も 継続実施中
尾長	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラノード広島郵便局</li> </ul>	2か所の郵便局において、障害者支援事業所「つくしんぼ作業所」が自主製品を販売	2022年度も 継続実施中
	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき百歳体操「片河クリスタル」：障害者支援事業所「SOARきつつき」が自主製品を販売</li> </ul>		2022年度 休止中
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「エキキタおながフェスタ 2021」：来場者参加賞として、4か所の障害者支援事業所（はぐくみの里、まごころの家 若草、きつつき共同作業所、ハートリンク）が焼き菓子や小物を詰め合わせにし、提供</li> <li>「エキキターレ秋フェスタ」：来場者参加賞として、2か所の障害者支援事業所（はぐくみの里、きつつき共同作業所）が焼き菓子を配布</li> <li>「エキキタキッズフェスタ」：来場者参加賞として、3か所の障害者支援事業所（はぐくみの里、きつつき共同作業所、つくしんぼ作業所）が焼き菓子を配布</li> <li>「広島ガーデンパレス朝市」：5か所の障害者支援事業所（はぐくみの里、まごころの家 若草、きつつき共同作業所、ハートリンク、つくしんぼ作業所）が自主製品の販売協力を実施</li> </ul>		2022年度も 継続実施中
中山	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てオープンスペース「中山子育ての集い」：障害者支援事業所「SOARきつつき」が自主製品を販売</li> </ul>		2022年度 休止中
	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきサロン「さくらんぼの会」：障害者支援事業所（はぐくみの里、スマイル中山）が自主製品を販売</li> </ul>		2022年度も 継続実施中
牛田 早稲田	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のウォーキングの拠点「早稲田神社まで歩こう！」：4か所の障害者支援事業所（まごころの家 若草、きつつき共同作業所、SOARきつつき、つくしんぼ作業所）が自主製品を販売し、障害者が地域住民（高齢者や乳幼児の親子）と交流</li> <li>「東区牛田山ぐるっとハイキング」：参加賞として、障害者支援事業所の自主製品を提供</li> </ul>		2021年10月 から実施
牛田	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のウォーキングの拠点「安楽寺まで歩こう！」：2か所の障害者支援事業所（つくしんぼ作業所・きつつき共同作業所）が自主製品の販売を開始。子育て中の親子も参加し、交流</li> </ul>		2022年10月 から実施
牛田新町	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いきいき健康フェスティバル」：大学生が参加し、パークスポーツの遊び方の指導を行い、参加した乳幼児・小学生やその保護者、高齢者と交流</li> <li>子育てオープンスペース「わくわく・しんまち」：大学生が参加し、乳幼児やその保護者、ボランティアと交流</li> </ul>		2022年度 から実施

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 2-(5)-(ア)	具体的な取組 元気じゃ健診を受けよう！	担当課 地域支えあい課												
まちづくりの方向性及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防														
事業目的・内容 区民の健康の保持増進、健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病の早期発見等を目的に、元気じゃ健診(40歳～74歳の方；特定健康診査、75歳の方；健康診査)を実施しているが、受診者が少ない。このため、平成31年度から社会福祉協議会と連携し、「自分の健康は自分で守る」という意識のもと、地域ぐるみで住民同士が呼び掛け合って健診受診ができるよう、モデル地区を定めて巡回健診のPRチラシ作成・配付をする等、受診率向上に向けた取組を行っている。														
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいこと、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下(フレイル)の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。														
○指標 特定健康診査受診率 (対象：広島市国民健康保険に加入する40歳～74歳の者)		○目標値の考え方 目標値は、「広島市国民健康保険特定健康診査等実施計画【第3期：2018年度～2023年度】」の2023年度の目標値50%を基に設定している。 <参考>2021年度特定健康診査受診率：広島市 24.8%、東区 24.8%												
○目標値と進捗状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2021 実績</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の目標値</td> <td>24.8% (確定値)</td> <td>45%</td> <td>※21.5% (5月末暫定値)</td> <td>48%</td> </tr> </tbody> </table> ※当年度の実績(受診率)について 2023年11月頃に2022年度実績(確定値)が判明する。			年度	2021 実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の目標値	24.8% (確定値)	45%	※21.5% (5月末暫定値)
年度	2021 実績	2022												
		目標値	実績	進捗率										
年度毎の目標値	24.8% (確定値)	45%	※21.5% (5月末暫定値)	48%										
○2022年度の取組内容等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東区受診率向上集中対策期間の受診券を発送する4月、受診勧奨ハガキを送付する9月及び1月に区役所 広告モニターやFacebook、市民と市政9月1日号で受信奨励メッセージを発信した。</li> <li>・地域団体や医療・福祉団体の会議で受診率向上の取組について説明し、協力を依頼するとともに、歯科医院、薬局、公衛協、保育園、幼稚園へポスター掲示を依頼した。</li> <li>・地区担当保健師が医療機関を訪問し、健診の積極的実施やポスター・ステッカーの掲示を依頼した。</li> <li>・若い世代向け啓発チラシをこんにちは赤ちゃん事業や乳幼児健診等で配付した。</li> <li>・7地区の健診サポーター会議において、効果的な受診率向上の取組について協議し、女性会会員による声かけやチラシ配布等を実施した。また、老人クラブ連合会に対しても協力を依頼した。</li> <li>・地区担当保健師・地域包括支援センター職員・医師の情報交換会において、効果的な受診率向上の取組について協議し、2か所の医療機関で試行的に元気じゃ健診の受診勧奨動画を放映することとした。</li> </ul>														
○2023年度の目標値と取組方針等 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">50%</td> <td>地域団体・医療介護関係機関と連携し、ポスター掲示や啓発チラシ、モニター広告を活用し、各世代への効果的な受診率向上の取組を実施する。</td> </tr> </tbody> </table>			目標値	取組方針等	50%	地域団体・医療介護関係機関と連携し、ポスター掲示や啓発チラシ、モニター広告を活用し、各世代への効果的な受診率向上の取組を実施する。								
目標値	取組方針等													
50%	地域団体・医療介護関係機関と連携し、ポスター掲示や啓発チラシ、モニター広告を活用し、各世代への効果的な受診率向上の取組を実施する。													
○取組上の課題等 受診率向上を目指し、新たな取組も実施したが、目標値の達成には至っていない。どのような取組が受診率向上に結びつくかを検討し、効果的な取組を重点的に行う。														
○備考														

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 2-(5)-(イ)	具体的な取組	野菜摂取量を増やすため、地元の野菜を食べよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防				
事業目的・内容 住民一人一人が自分自身の健康に関心を持ち、野菜摂取の大切さ、栄養バランスを意識した食事について理解を深めることを目的として、健康教室の開催、個別相談等を行っている。平成 26 年度からは区役所食堂において、健康に関する情報の発信、健康相談（年4回）、「元気じゃけん定食」の提供支援（月 2 回）等を通じた啓発を行っている。				
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。				
○指標 地元野菜を活用したレシピの数			○目標値の考え方 すこやか食生活推進リーダー※1 及び食生活改善推進員※2 と連携し、毎年、夏野菜と冬野菜を使ったレシピを1品ずつ計2品を開発する。 ※1 地域で健康増進・栄養改善活動を行う本市登録の管理栄養士又は栄養士 ※2 本市実施の食生活改善推進員養成講座を修了し登録したボランティア	
○目標値と進捗状況				
年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	2品/年	2品/年	2品/年	100%
○2022 年度の取組内容等 市民健康・栄養調査（2021 年）の結果、広島市民の約 4 割が朝食で野菜を食べていない状況を踏まえ、「朝食で手軽に野菜が食べられる」をテーマに、レシピを2品作成した。作成したレシピは市の公式 Twitter 及び YouTube に掲載し、東区役所の乳幼児健診会場で動画配信している。 これまでに作成したレシピは、Facebook や子育て応援アプリで情報提供するとともに、大学祭や区役所職員食堂、二葉公民館、乳幼児健診、子育て世代向けの訪問事業等で配布した。また、実演・試食型の教室を開催し、レシピの啓発を行った。				
○2023 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
2品/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンビニ商品や身近な食材を使い、簡単な手順でできるレシピを考案する。</li> <li>• 乳幼児健診会場のモニターを使用した動画によるレシピ紹介や、市の公式 SNS を活用した情報発信について取組を進める。</li> <li>• 大学との連携事業を活用し、若い世代への啓発に努める。</li> </ul>			
○取組上の課題等 特になし。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 2-(5)-(ウ)	具体的な取組 東区を歩いて、運動習慣を身につけよう！	担当課	地域支えあい課		
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防					
事業目的・内容 区民一人一人が自分自身の健康に関心を持ち、健康ウォーキングに取り組むきっかけづくりを目的に、平成18年度から各地区公民館等で健康ウォーキング教室を開催し、ウォーキングの普及啓発に取り組んでいる。平成19年度からは、年1回各地区のウォーキングコースを活用した「健康ウォーキングのつどい」を東区公衆衛生推進協議会及び、東区スポーツセンターと共催で開催していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、令和2年度以降中止となっている。令和4年度からは、新たな取組として「新牛田公園・牛田総合公園いきいき健康フェスティバル」を開催している。 一方、コロナ禍で生まれた活動として、地域団体が主催する週1回自宅から地域の拠点に歩く取組が開始しており、健康づくりや介護予防に効果的な活動へと発展している。					
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。					
※2021年度に指標②追加 ○指標① 「健康ウォーキングのつどい」の60歳未満参加者割合 指標② 週1回程度ウォーキング活動をする地区数		○目標値の考え方 指標①：2018年度、2019年度の60歳未満参加者割合（アンケート回答者より算出）は、それぞれ3%、6%であった。2020年度は、10%以上、2022年度は15%以上、2025年度は20%以上とする。 指標②：2021年度実績が6地区のため、2025年度には13地区全ての地区で実施することとする。ウォーキング活動とは、地域団体が実施主体となり、概ね地(学)区単位での活動を計上する。			
○目標値と進捗状況					
		2022			
年度		2021 実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	指標①	— 【中止】	15% 以上	16.6%	111%
	指標②	6/13 ※ 地区	7/13 地区	6/13 地区	86%
※6地区が活動していたため、6/13地区に修正					
○2022年度の取組内容等 「健康ウォーキングのつどい」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止した。新たな取組として、10月に「新牛田公園・牛田総合公園いきいき健康フェスティバル」を開催し、その中で実施したフォレストウォークには24名の参加があった（うち60歳未満の参加者は4名）。 ウォーキング活動をする地区数については、目標達成には至らなかったが、新たな活動の場の立ち上げに向けて、地域でのウォーキング活動の実態を把握した。					
○2023年度の目標値と取組方針等					
目標値	取組方針等				
指標① 15%以上	健康ウォーキングのつどいについて、関係団体と今後の方向性等について検討する。「新牛田公園・牛田総合公園いきいき健康フェスティバル」におけるウォーキングイベントにおいて若年層の参加を働きかける。				
指標② 10地区	地(学)区単位の団体に働きかけ、週1回程度ウォーキング活動をできる場を増やす。				
○取組上の課題等 新たに「新牛田公園・牛田総合公園いきいき健康フェスティバル」を開催したが、ウォーキング参加者は依然として高齢者が多く、今後も若年層の参加を促すような働きかけが必要である。 週1回程度ウォーキング活動をする地区数の増加について、来年度は立ち上げ地区を選定し、働きかけを行っていく。					
○備考					

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 3-(1)-(ア) 4-(1)-(ウ)	具体的 な取組	「ふたばの日」ガイドツアー参加者を増やそう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (1) 二葉の里歴史の散歩道などの活用																	
事業目的・内容 二葉の里歴史の散歩道（不動院～二葉の里～矢賀一里塚。昭和 58 年指定）は、国宝「不動院金堂」をはじめ、重要文化財等が集積した歴史文化的価値の高い散歩道である。平成 21 年 3 月から、散歩道を活用して東区の魅力発信を図る目的で、「二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会」と協働し、「ふたばの日」（毎月 28 日）に定期ガイド等を実施している。																	
○課題と対応 二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。																	
○指標 年間参加者数			○目標値の考え方 2018 年度実績が 815 人であったため、2020 年度目標を 830 人とし、季節ごとに開催を予定している特別ガイド等の内容充実と、幅広い世代へ届けるための広報手段の工夫により、毎年度 1% ずつ参加者を増やす。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2021 実績</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>91 人</td> <td>847 人</td> <td>850 人</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2021 実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	91 人	847 人	850 人	100%
年度	2021 実績	2022															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	91 人	847 人	850 人	100%													
○2022 年度の実績内容等 「ふたばの日」は新型コロナウイルス感染症対策の自己申告チェックリストを提出してもらう等の対応をした上で実施し、参加者は 384 人であった。 また、事前予約制の「いつでもガイド」は、31 回実施し、参加者は 409 人、8 月 5 日の「夏の夜、祈りと平和の夕べ」で行った夕べのガイドツアーの参加者は 57 人であった。																	
○2023 年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">855 人</td> <td>「ふたばの日」及び「いつでもガイド」のほか、二葉の里歴史の散歩道の 40 年記念として、「ふたばの日」の特別ガイドを復活させる。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	855 人	「ふたばの日」及び「いつでもガイド」のほか、二葉の里歴史の散歩道の 40 年記念として、「ふたばの日」の特別ガイドを復活させる。									
目標値	取組方針等																
855 人	「ふたばの日」及び「いつでもガイド」のほか、二葉の里歴史の散歩道の 40 年記念として、「ふたばの日」の特別ガイドを復活させる。																
○取組上の課題等 より多くの外国人旅行者や幅広い世代に参加してもらうため、外国人宿泊者等が多く見込まれる施設など、散策マップ（日本語版・英語版）の配布先を検討する。																	
○備考																	



## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 3-(1)-(イ) 4-(1)-(エ)	具体的 な取組	「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の来訪者を増やそう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (1) 二葉の里歴史の散歩道などの活用																	
事業目的・内容 二葉の里歴史の散歩道沿いにある神社仏閣の石灯籠や参道に「平和の灯」から採火した約千本のろうそくを灯し、平和の夕べを開催することにより、原爆によって亡くなられた人々の霊を慰め世界平和を祈念するとともに、エキキタをアピールするため、平成 24 年度から、七社寺、ボランティアガイドの会、町内会、関係団体及び区役所で組織する実行委員会が中心となり、毎年 8 月 5 日に実施している。																	
○課題と対応 二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。																	
○指標 イベントの来訪者数			○目標値の考え方 2019 年度実績が 1,900 人であったため、2020 年度目標を 2,000 人とし、毎年度 50 人増やすこととする。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2021 実績</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>— 【中止】</td> <td>2,100 人</td> <td>1,324 人</td> <td>63%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2021 実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	— 【中止】	2,100 人	1,324 人	63%
年度	2021 実績	2022															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	— 【中止】	2,100 人	1,324 人	63%													
○2022 年度の取組内容等 8 月 5 日の「夏の夜、祈りと平和の夕べ」は、新型コロナウイルス感染症の対策として、飲食を伴うイベントを中止し、ろうそくを一部 LED ライトに変更して、ボランティア人員を削減するなどの対策をとった上で 3 年ぶりに実施した。																	
○2023 年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,150 人</td> <td>案内チラシ（英語版）を作成し、外国人旅行者等を増やす。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	2,150 人	案内チラシ（英語版）を作成し、外国人旅行者等を増やす。									
目標値	取組方針等																
2,150 人	案内チラシ（英語版）を作成し、外国人旅行者等を増やす。																
○取組上の課題等 より多くの外国人旅行者や幅広い世代に参加してもらうため、外国人宿泊者等が多く見込まれる施設など、案内チラシ（日本語版、英語版）の配布先を検討する。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 3-(2)-(ア)	具体的な取組	自然観察の楽しさを広めよう！	担当課	地域起こし推進課				
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性的なまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進								
事業目的・内容 東区の自然に恵まれた特性や地域資源を生かし、緑や水に親しむ機会を創出することを目的として、平成12年5月から「東区緑のボランティアの会」と区役所が協働し、東区の豊かな自然とふれあう自然観察会を実施している。								
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。								
○指標 年間参加者数			○目標値の考え方 2018・2019年度は災害等により一部の観察会が中止となったため、2017年度の実績である5回198人（1回あたり平均約40人）を基準とし、1回あたり50人、5回で250人を目標とする。					
○目標値と進捗状況								
年度	2021 実績	2022						
		目標値	実績	進捗率				
年度毎の 目標値	26人	220人	152人	69%				
○2022年度の取組内容等								
時期・ 内容等	4月	5月	6月	8月	10月	11月		3月
	春の 自然観察会	いきいき大学 (牛田公民館 学習支援)	モリアオガエルの 自然観察会	水辺のふれあい 自然観察会	シリブカガシの ワークショップ	秋の 自然観察会	牛田山 ぐるっと ハイキング	講演会
参加者数	29人	14人	36人	中止	中止	25人	24人	24人
「東区緑のボランティアの会」と協議し、8月の「水辺のふれあい自然観察会」及び10月の「シリブカガシのワークショップ」の中止を決定した。その他のイベントは、感染症対策を行った上で実施した。 また、新たな試みとして、外部講師を招いて、講演会（広島市の昆虫について）を3月に開催した。								
○2023年度の目標値と取組方針等								
目標値	取組方針等							
230人	例年行ってきたイベントの開催内容の見直しや、新たなイベントの開催について検討する。							
○取組上の課題等 各イベントとも参加者が定員に達していないことから、既存イベントの内容の見直しや、被爆樹木の観察会など新たなイベントの企画を行うことでイベントの魅力を上させるとともに、様々な広報ツールを活用して広報することで参加者の増加につなげる。								
○備考								

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 3-(2)-(イ)	具体的な 取組	都心に近い「牛田山」の魅力を伝えよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性的なまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進				
事業目的・内容 都心近くには珍しい、複数の山を縦走することができる全長約5kmの牛田山ハイキングコースの認知度を高め、その利用者数を増やすことを目的に、平成25年度から毎年11月に、地元の学区体育協会と区役所、公民館、東区スポーツセンターが協働して「牛田山ぐるっとハイキング」を開催し、ハイキングコースの魅力を区内外に広くアピールしている。				
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。				
○指標 牛田山ハイキング参加者数			○目標値の考え方 2019年度は、悪天候のため参加者数が123人ととどまったため、2018年度実績である177人を基準とし、運営スタッフの人数に制限もあることから、最大200人を目標値として設定する。	
○目標値と進捗状況				
年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	151人	188人	132人	70%
○2022年度の実績内容等 2021年度に引き続き、少人数グループの編成、出発時間の分散などを盛り込んだ「グループ登山イベント」と、一定期間中に自由に参加する「いつでも登山ウィーク」の2部構成で実施し、感染症への対策を講じつつ、市民が柔軟に参加できるような形で実施した。 その結果、11月27日の「グループ登山イベント」では67人、その後12月11日まで実施した「いつでも登山ウィーク」では65人の参加があった。				
○2023年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
192人	より多くの人に参加してもらえるように、メインの広報ツールであるリーフレットのデザインを工夫する。			
○取組上の課題等 ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、山登りの未経験者・初心者でも関心を持ってもらいやすいリーフレットのデザインとし、様々な広報ツールを活用して広報する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 3-(2)-(ウ)	具体的な取組	地域主催のハイキングイベントを増やそう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進				
事業目的・内容 東区には、都心の近くで自然に親しむことのできるハイキングコースが多数存在する。これらのハイキングコースの利用を促進し、自然とのふれあいの機会を創出することを目的として、令和2年度から新たに地域主催のハイキングイベントの実施を支援する。				
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。				
○指標 ハイキングイベントの新規実施件数			○目標値の考え方 2019年度は、上温品学区体育協会が町民ハイキングを、福田公民館と馬木公民館、戸坂公民館が地域団体と連携してハイキングイベントを実施している。2020年度からも、学区体育協会や公民館等との連携を図りながら、尾長山・大内越山・高尾山の3つの山で、新たにハイキングイベントを実施する。	
○目標値と進捗状況				
年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	1件/年	1件/年	1件/年	100%
○2022年度の取組内容等				
主催団体	対象場所	内容		
二葉公民館	尾長山・大内越山	昨年度に実施した「いつでも登山イベント」の対象を拡大し、大内越山でも実施した。（3月11日～31日、参加者10人）		
○2023年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
継続実施	実施主体である各公民館等と協議しながら、尾長山・大内越山・高尾山でのイベント実施支援を継続していく。			
○取組上の課題等 各公民館等と連携して、広報等を行うことで参加者の増加を図り、各ハイキングイベントの実施を引き続き支援していく。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2022年度実績）

項目番号 3-(3) 4-(1)-(オ)	具体的な 取組	「魅力と活力向上推進事業補助金」	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (3) 地域資源を生かした住民主体の活動の推進																	
事業目的・内容 平成 11 年度から、地域特性を生かした個性豊かで魅力あるまちづくりを推進することを目的として、地域の魅力や活力の向上に資する住民の主体的かつ継続的な活動に補助金を交付している。																	
○課題と対応 東区の魅力や活力をさらに高めていくために、地域資源を生かしたまちづくりを進める団体等に積極的に制度の情報提供を行い、活動する団体を増やす。																	
○指標 新規申請件数			○目標値の考え方 2019 年度までの過去7か年の新規申請件数が平均3.1件、2019年度新規申請件数が4件であることを踏まえ、今後も、毎年度4件以上の新規申請件数を目指す。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2021 実績</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>2件 /年</td> <td>4件以上 /年</td> <td>1件 /年</td> <td>25%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2021 実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	2件 /年	4件以上 /年	1件 /年	25%
年度	2021 実績	2022															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	2件 /年	4件以上 /年	1件 /年	25%													
○2022 年度の取組内容等 1次募集では継続2件のみで、新規申請は0件だった。2次募集に向けて、「市民と市政」での広報、各地区社会福祉協議会に募集要項を送付し周知等を行った結果、「かかし祭り実行委員会」からの申請があり、今年度実績は1件となった。																	
○2023 年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4件以上 /年</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存団体の活動を「市民と市政」や Facebook を通じて広報し、地域活動団体に向けて補助制度や活動の具体的な内容を周知する。</li> <li>・既存団体から情報収集するなどして、申請の可能性のある団体を掘り起こし、個別に声掛けを行う。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	4件以上 /年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存団体の活動を「市民と市政」や Facebook を通じて広報し、地域活動団体に向けて補助制度や活動の具体的な内容を周知する。</li> <li>・既存団体から情報収集するなどして、申請の可能性のある団体を掘り起こし、個別に声掛けを行う。</li> </ul>									
目標値	取組方針等																
4件以上 /年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存団体の活動を「市民と市政」や Facebook を通じて広報し、地域活動団体に向けて補助制度や活動の具体的な内容を周知する。</li> <li>・既存団体から情報収集するなどして、申請の可能性のある団体を掘り起こし、個別に声掛けを行う。</li> </ul>																
○取組上の課題等 制度が十分に周知されていないことから、地区社会福祉協議会など各種団体へチラシや案内を送付するとともに、「市民と市政」や公民館だよりで紹介記事を掲載するなど、新規申請の掘り起こしを行う。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 3-(4)-(ア)	具体的な取組	健康づくりに取り組む若者を育てよう！	担当課	地域支えあい課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を活かした個性豊かなまちづくり (4) 大学との地域連携によるまちづくり																	
事業目的・内容 若い世代に対する健康づくり・健全な食生活の実践等に関する普及啓発を目的として、平成 22 年度から大学との包括的な連携のもと、大学祭で健康展（朝食・野菜摂取に関する展示、レシピ紹介等）を開催している。																	
○課題と対応 地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。																	
○指標 健康展の出展回数			○目標値の考え方 これまで広島女学院大学、比治山大学を隔年で実施していた。2020 年度からは両大学の大学祭において健康展を出展するため、年2回とした。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2021 実績</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>1回/年</td> <td>2回/年</td> <td>2回/年</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2021 実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	1回/年	2回/年	2回/年	100%
年度	2021 実績	2022															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	1回/年	2回/年	2回/年	100%													
○2022 年度の実績内容等 <比治山大学との連携> 保健センター栄養士が市の健康づくりに関する講義を実施し、学生がテーマ別に4種類（減塩、野菜、朝食、栄養バランス）の啓発動画を作成した。作成した動画は、10月29日（土）・30日（日）に開催された大学祭で約160名の来所者を対象に放映し、学生が健康づくりの重要性について説明した。啓発動画は東区役所の乳幼児健診会場でも配信し、子育て世代への啓発にも活用している。 <広島女学院大学との連携> 11月13日（日）に開催された大学祭で、大学・企業・行政（県・市）が連携した健康展を開催した。美肌と食生活の関連・野菜や朝食の摂取等に関する内容の他、エイズのパネル展示やアルコール体質チェックも取り入れた「食育&健康増進コーナー」を設置し、約250名の参加があった。 その他、大学と連携した取組として、11月8日（火）に子宮頸がん予防講演会を開催した（参加者284名）。また、12月1日（木）のエイズ啓発街頭キャンペーンに学生ボランティア2名の参加があった。																	
○2023 年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2回/年</td> <td>大学側との協議を早期に行い、若い世代への効果的な取組を検討する。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	2回/年	大学側との協議を早期に行い、若い世代への効果的な取組を検討する。									
目標値	取組方針等																
2回/年	大学側との協議を早期に行い、若い世代への効果的な取組を検討する。																
○取組上の課題等 健康に関する最近の話題を取り入れながら、保健センターの事業方針と大学側の希望を早期に確認し、大学祭への参加や講演会の開催等の調整を行う。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 3-(4)-(イ)	具体的な取組	命の大切さや思いやりの心を育もう！	担当課	地域支えあい課													
まちづくりのテーマ及び項目 3.地域資源を活かした個性豊かなまちづくり (4) 大学との地域連携によるまちづくり																	
事業目的・内容 大学生が乳幼児とその保護者とふれあい、交流することで、生命の尊さや思いやりの心を育むことを目的に、常設子育てオープンスペースにおいて、大学生と親子がふれあい、交流できるイベントを実施する。																	
○課題と対応 地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。																	
○指標 大学生による常設オープンスペースでの、親子で遊べるイベント開催件数			○目標値の考え方 年1回、継続的に開催する。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2021 実績</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>1回/年</td> <td>1回/年</td> <td>1回/年</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2021 実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	1回/年	1回/年	1回/年	100%
年度	2021 実績	2022															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	1回/年	1回/年	1回/年	100%													
○2022 年度の取組内容等 常設オープンスペースへの大学生の参加について、11月30日に比治山大学から学生4名が参加し、パネルシアターや遊びを実施した。1月25日にも同様に同大学から学生の参加を予定していたが、大雪のため、中止となった。 また、生命の大切さについて理解を深めるとともに思いやりの心を育むことを目的に、出産・子育てに関する助産師の講演の実施を提案し、9月5日広島女学院大学管理栄養学科3年生66名に対し実施した。学生が、将来に向けて、出産や育児について深く考えるきっかけにもなった。																	
○2023 年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回/年</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比治山大学学生の常設オープンスペースへの参加を継続する。</li> <li>・広島女学院大学学生に対する出産・子育てに関する助産師の講演も好評だったため、9月頃に実施予定</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	1回/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比治山大学学生の常設オープンスペースへの参加を継続する。</li> <li>・広島女学院大学学生に対する出産・子育てに関する助産師の講演も好評だったため、9月頃に実施予定</li> </ul>									
目標値	取組方針等																
1回/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比治山大学学生の常設オープンスペースへの参加を継続する。</li> <li>・広島女学院大学学生に対する出産・子育てに関する助産師の講演も好評だったため、9月頃に実施予定</li> </ul>																
○取組上の課題等 大学と連絡・調整をとりながら、大学生が常設オープンスペースで乳幼児とその保護者とふれあい、交流することで、生命の尊さや思いやりの心を育むことができるよう、イベントを計画し実施する。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 3-(5)-(ア)	具体的な取組	地元のトップアスリートを応援しよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (5) スポーツにふれあう機会の充実				
事業目的・内容 東区を拠点に活動する女子ハンドボールチーム「イズミメイプルレッズ」を応援することを通じて、区民がスポーツに親しむことを目的として、平成 28 年度から年 1 回、東区応援団を結成して試合の応援を行うとともに、区役所ロビーでの応援パネル展を行っている。				
○課題と対応 東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。				
○指標 東区応援団への参加者数			○目標値の考え方 2019 年度実績が 90 人であったため、2020 年度目標を 100 人とし、学区体育協会など各種団体への働き掛けにより、毎年度 10 人ずつ参加者を増やす。	
○目標値と進捗状況				
		2022		
年度	2021 実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	— 【中止】	120 人	40 人	33%
○2022 年度の取組内容等				
実施日	応援状況			
6 月	リーグ開幕に向け東区役所を訪問した中山監督と選手を激励 (6/8)			
	区役所ロビー展第 1 弾 (6/20~7/15)			
7 月	リーグ開幕戦にあわせて Facebook で応援を呼び掛けた。			
9 月	区報ひがし 10 月 1 日号でチーム・試合情報を紹介			
1 月	区役所ロビー展第 2 弾 (1/16~2/10)、応援メッセージ募集 (1/16~2/11)			
2 月	東区応援隊による試合応援を実施した。また、集まった応援メッセージを試合で掲げ、チームへ届けた。(2/11)			
○2023 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
130 人	イズミメイプルレッズや東区スポーツセンター、学区体育協会との連携を図りながら、東区応援隊の結成について協議し、イズミメイプルレッズを応援する。			
○取組上の課題等 応援型の取組内容のみでは参加者の増加が見込めないため、イズミメイプルレッズや東区スポーツセンターと協議し、シュート体験会などの参加型のイベントを同日開催するなど、参加者の増加につながる取組を検討する。				
○備考				



## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 3-(5)-(イ)	具体的な取組	高齢者や障害者等、全ての区民が気軽にスポーツに参加する機会を広げよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (5) スポーツにふれあう機会の充実				
事業目的・内容 区民の生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動を支援することを目的として、学区体育協会、区スポーツ推進委員協議会、東区スポーツセンター等が協働して年3回（5月、10月、12月）、区内の小中学生や地域住民を対象にニュースポーツを体験するイベントを開催している。				
○課題と対応 東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。				
○指標 ニュースポーツを体験するイベントの年間実施回数			○目標値の考え方 2019年度まで毎年3回継続開催しており、2020年以降も毎年3回継続して実施する。	
○目標値と進捗状況				
年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	1回	3回	3回	100%
○2022年度の取組内容等				
イベント名	実施時期	状況等		
エンジョイ！スポーツ祭（スポーツの日）	10月10日	施設を無料開放し、体力測定会などのイベントを実施		
ニュースポーツ交流会	12月19日	種目をラダーゲッターに変更し実施		
ひがしくスポーツセンターまつり	2月26日	キッズ体力測定やトランポリン等の室内スポーツ体験を実施		
○2023年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
3回	東区スポーツセンターや学区体育団体東区連合会と連携し、イベントの広報活動を支援していく。			
○取組上の課題等 より多くのイベント参加者を呼び込むため、東区スポーツセンターと連携し、様々な広報ツールを活用して広報する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 3-(6) 4-(2)	具体的 な取組	「木曜であい市」でおいしい地元野菜をアピールしよう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (6) 都心に近い農業地域の活力向上																	
事業目的・内容 東区の新鮮な野菜等の特産品を販売するイベントを開催することにより、農業の振興と、来訪者と区民や区民相互の交流を促進することを目的に、平成 16 年 8 月から、毎週木曜日に東区民文化センターにおいて「木曜であい市」を開催している。																	
○課題と対応 「木曜であい市」の来場者数が減少傾向にあるため、「木曜であい市」の認知度を高め、来場者数を増やす。																	
○指標 年間来場者数			○目標値の考え方 2018 年度までの過去 3 年間で 1 回の来場者が 103 人から 80 人に減少しているため、2020 年度の目標を 4,000 人（1 回 80 人 × 年 50 週）と設定し、毎年 50 人ずつ（毎回 1 人ずつ）来場者を増やす。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2021 実績</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>365 人</td> <td>4,100 人</td> <td>3,316 人</td> <td>81%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2021 実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	365 人	4,100 人	3,316 人	81%
年度	2021 実績	2022															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	365 人	4,100 人	3,316 人	81%													
○2022 年度の実績内容等 4 月 7 日から木曜であい市を再開し、計 46 回開催した。前年度は新型コロナウイルス感染症のため、6 回しか開催できず、再開直後は来客が少なかった。このため、積極的に広報活動を行い、認知度を高めるよう努めた（昼時間に東区役所で館内放送、区役所 1 階にサンプル品の展示、スポットラジオ（7 月 1 日から 7 月 31 日まで）、広報紙「市民と市政」への掲載、Facebook への投稿）。 また、「年末くじ」や開催 800 回記念として「豚汁のふるまい」のイベントを行ったほか、通常の開催以外に安全・安心フェスタや東区スポーツセンターのスケート感謝祭に出店した。																	
○2023 年度の目標値と取組方法等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">4,150 人</td> <td>地元野菜を活用したレシピを配布するなど、野菜を購入してくれる来場者へのサービスを充実させてリピート来場者を増やす。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	4,150 人	地元野菜を活用したレシピを配布するなど、野菜を購入してくれる来場者へのサービスを充実させてリピート来場者を増やす。									
目標値	取組方針等																
4,150 人	地元野菜を活用したレシピを配布するなど、野菜を購入してくれる来場者へのサービスを充実させてリピート来場者を増やす。																
○取組上の課題等 「木曜であい市」の周知が十分でないことから、引き続き継続開催し、固定ファンを増やすとともに、様々な広報ツールを活用して事業の認知度を高める。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 3-(7)	具体的な取組	子どもたちに地域の魅力を伝えよう!	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (7) 地域の魅力の継承				
事業目的・内容 東区では、地域の魅力を子どもたちに伝えていくため、二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会（以下、「歴史」）（牛田小学校、尾長小学校）、東区緑のボランティアの会（以下、「緑ボラ」）（尾長小学校）、東区ふれあいもてなし市協議会（以下、「農家」）（矢賀小学校）の3者が講師となり、地域の歴史や自然、農業などの学習を支援している。				
○課題と対応 子ども達が地域の歴史や自然を学習する機会が少ないため、東区の魅力である地域資源を継続して伝えていく。				
○指標 3者が学習支援を実施する学校等の数			○目標値の考え方 2019年度は3者が4校で学習支援を行っており、2025年度に3者が各1校ずつ増やし7校にすることとし、2年ごとに1校ずつ増やすことを目標とする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の目標値	5校/年	5校/年	6校/年	120%
○2022年度の取組内容等				
団体・学習支援実施校		学習支援内容	実施時期	
農家	①矢賀小学校（2年）	「矢賀うり」植付指導	6月	
		「矢賀ちしゃ」植付指導	11月	
	②あけぼの保育園	「矢賀うり」植付指導	6月	
	③わかくさ保育園	「矢賀ちしゃ」植付指導	12月	
歴史	④尾長小学校（6年）	ウォークラリー（七社寺）でのガイド	7月	
	⑤牛田小学校（3年）	校内授業で見立山・工兵橋など地域の歴史ガイド	9月	
	⑥広島女学院大学	城下町広島の歴史講座	11月	
七福神コースのガイド		11月		
緑ボラ	尾長小学校（5年）	尾長山・二葉山でのガイド	中止	
○2023年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
6校/年	新たな学習支援校を増やすため、学校への情報提供を早期に行う。			
○取組上の課題等 学校側のスケジュール確保が必要であることから、早期に、小学校長会での周知や情報提供を行う。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 4-(1)-(ア)	具体的な取組	「エキキターレ」をエキキタのにぎわい広場として盛り上げよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 4 おもてなしの心あふれるまちづくり (1) 陸の玄関口であるJR広島駅新幹線口周辺地区(エキキタ)のにぎわいづくり				
事業目的・内容 JR広島駅新幹線口周辺地区(エキキタ)では、地元企業や住民団体、東区役所によって、平成27年に「エキキタまちづくり会議」が設立され、その後、様々な取組を継続して実施している。 平成31年3月には、広島市が創設した「エリアマネジメント活動計画認定制度」の第1号として「エキキタエリアマネジメント活動計画」が認定された。これにより、エキキターレ(有効空地)及び二葉の里第三公園(街区公園)における規制緩和が認められたことから、これらを活用して自主財源を確保しながら、産官学民の協働・連携により、エキキタが一体となった持続可能なまちづくりを進めている。				
○課題と対応 「エキキターレ」を活用するなど、季節ごとに実施されるイベントの内容の充実を図りながら、「エキキタ」の認知度を高めていく。				
○指標 イベント等でのエキキターレの利用日数			○目標値の考え方 2019年度の利用実績30日を踏まえ、2025年度には、100日の利用(年間を通して週末にはイベント等が行われている状況)を目指し、利用日数を増やす。	
○目標値と進捗状況				
年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	17日 /年	55日 /年	49日 /年	89%
○2022年度の取組内容等 ＜エキキターレ利用実績＞				
利用月	イベント名(日数)			
5月	あんぱんパーク(5日)、子育て応援団すこやか2022(2日)			
7月	エキキタおながフェスタ(2日)、肉肉パーク(2日) ※合計4日のうち同日出店が1日あるため、3日でカウントした。			
9月	広島オクトーバーフェスト(11日)			
10月	広島の酒祭り(1日)、あんぱんパーク(6日)、肉肉パーク(5日)、住まいのゆめ博(2日)			
11月	防災フェス(1日)、秋フェスタ(2日)、辛辛パーク(3日)			
12月	カープフェス(1日)、クリスマスマーケット(5日)			
3月	キッズフェスタ(2日)			
○2023年度の目標値と取組方針				
目標値	取組方針			
70日 /年	9月にオープンしたエキキタパークとエキキターレの連携したイベントを支援するなどして、利用増加につなげる。			
○取組上の課題等 エキキターレの認知度が十分でないことから、イベントの広報支援を通して、利用増加につなげる。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 4-(1)-(イ)	具体的な取組	「エキキタ・ドリミネーション」を、エキキタのインスタスポットに育てよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 4 おもてなしの心あふれるまちづくり (1) 陸の玄関口である JR 広島駅新幹線口周辺地区（エキキタ）のにぎわいづくり				
事業目的・内容 広島の新たな観光スポットとして、多くの方々にエキキタに足を運んでいただき、賑わいの創出を図ることを目的として、平成28年度から、「エキキタ・イルミネーション」として周辺企業・店舗と協働でイルミネーションイベントを実施している。平成30年度からは、「ひろしまドリミネーション」のサテライトエリアとして広島駅周辺地区まちづくり協議会とも連携し、「エキキタ・ドリミネーション」として開催し、周辺地域一体となった魅力発信を行っている。				
○課題と対応 「エキキターレ」を活用するなど、季節ごとに実施されるイベントの内容の充実を図りながら、「エキキタ」の認知度を高めていく。				
○指標 参加企業・店舗数			○目標値の考え方 2018 年度に 23 企業・店舗、2019 年度に 20 企業・店舗の参加実績があり、2025 年度の 30 企業・店舗を目標として、毎年、新規参加店舗・企業を増やす。	
○目標値と進捗状況				
年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	26 企業・ 店舗	27 企業・ 店舗	28 企業・ 店舗	104%
○2022 年度の取組内容等 2 団体（広成建設、広島県医師会）の新規参加、1 団体（JR 西日本）の復帰があったが、1 団体が参加を辞退したため、昨年度から 2 件増加の 28 企業・店舗の参加となった。				
○2023 年度の目標値と取組方針				
目標値	取組方針			
28 企業・ 店舗	引き続き、周辺の企業・店舗へ参加の呼びかけを行う。			
○取組上の課題等 エキキターレの北側、西側のイルミネーションのつながりが希薄なため、周辺の企業・店舗の現地調査を行い、新規参加の掘り起こしを行う。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート (2022 年実績)

項目番号 4-(3)	具体的な取組	東区を花でいっぱいにしてしよう！			担当課	地域起こし推進課																			
まちづくりのテーマ及び項目 4 おもてなしの心あふれるまちづくり (3) 公共空間（公園等）を活用した花づくり																									
事業目的・内容 東区を花でいっぱいの潤いのあるまちにしていくことを目的に、平成 25 年度から 3 人以上で構成する花づくり団体へ、花づくりに必要な物品を提供し、安定して活動が継続できるよう支援している。																									
○課題と対応 花づくりを行える公園等の公共用地で、まだ活用されていない場所が見受けられるため、支援制度の広報に力を入れ、活動を充実・強化する。																									
○指標 花づくり活動団体数					○目標値の考え方 2019 年度実績が 40 団体であるため、2020 年度目標を 42 団体とし毎年 1～2 団体の増加を目指す。																				
○目標値と進捗状況					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">実績進捗率算出（積み上げ式）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">48</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">40 ※</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">40 ※</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">※2019 実績値</td> </tr> </table>		実績進捗率算出（積み上げ式）				48	-	40 ※	=	8	45	-	40 ※	=	5	※2019 実績値				
実績進捗率算出（積み上げ式）																									
48	-	40 ※	=	8																					
45	-	40 ※	=	5																					
※2019 実績値																									
年度	2021 実績	2022 目標値	2022 実績	2022 進捗率																					
年度毎の 目標値	47 団体	45 団体	48 団体	160%																					
○2022 年度の実績内容等 ・下記の 3 団体から新たに申請があり、既存の団体 2 団体から活動中止の申し出があったため、花づくり活動団体は、合計 48 団体となった。																									
団体名称		活動場所																							
牛田東二丁目町内会		牛田東二丁目バス停付近の植栽																							
牛田本町第二公園管理グループ		牛田本町第二公園																							
東蟹屋町西部町内会		荒神陸橋下の植栽																							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6 月と 11 月に「花いっぱいのキャンパス in ふたば・花咲会」の協力を得て区役所の花壇の植え替えを行い、その様子を Facebook で広報し、併せて本事業の紹介を行った。</li> <li>・2 月に既存団体向けの花づくり講座を開催し、団体が継続して活動できるようスキルアップの機会を提供した。また、講習会で作成した寄せ植えの作品を「出会い・ふれあいフェスティバル（2 月 18 日、19 日開催）」で展示し、本事業の PR を行った。</li> </ul>																									
○2023 年度の目標値と取組方針等																									
目標値	取組方針等																								
47 団体	既存団体にチラシ等の案内を提供し、花づくり活動がされていない公園の周辺の知人の方などに本事業を紹介してもらえるように依頼することで、新しい活動団体を発掘していく。																								
○取組上の課題等 花づくり団体の活動報告書を利用した広報を継続して、制度の周知を図る。																									
○備考																									